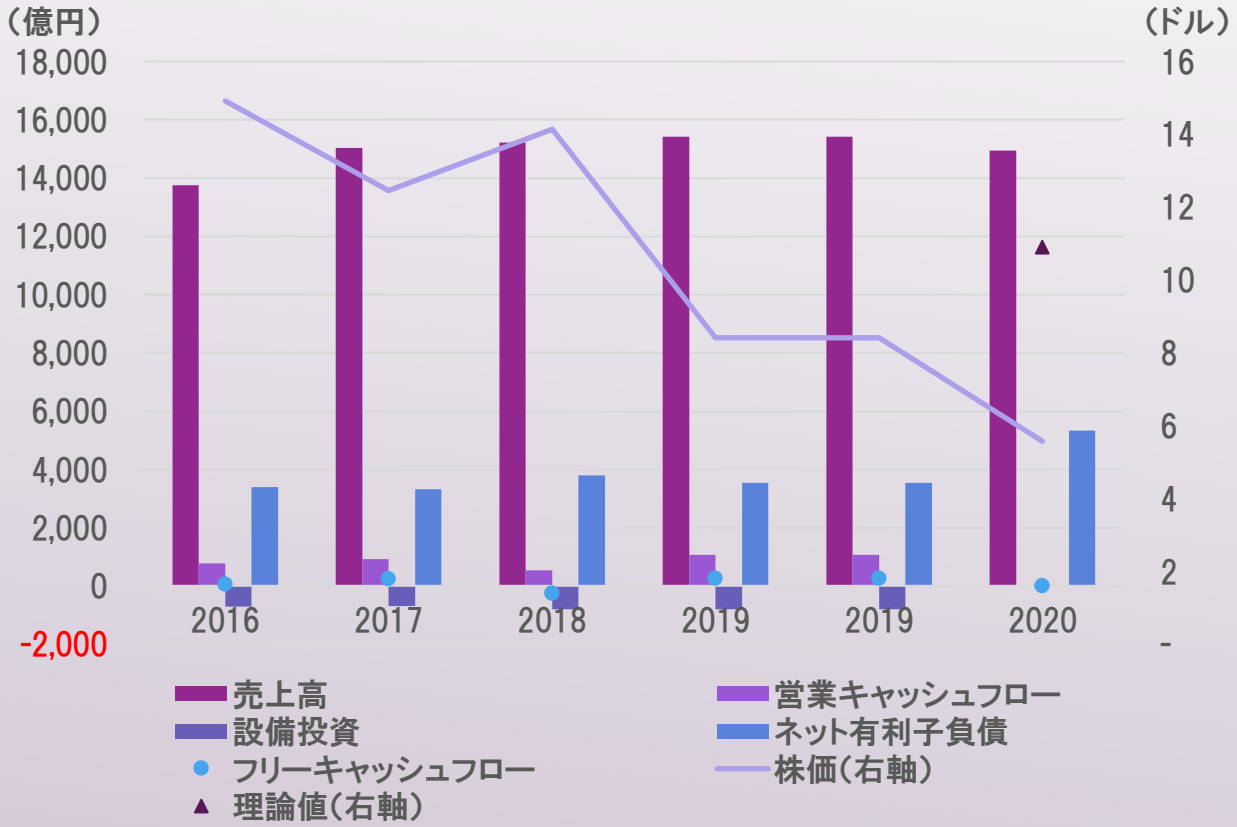
川崎重工業株式会社

川崎重工業株式会社は、輸送機器や工業製品の製造を行っている。船舶および海洋構造物、鉄道車両、航空宇宙、ガスタービンおよび機械、プラントおよびインフラストラクチャ、オートバイおよびエンジン、精密機械、その他のセグメントを通じて運営されている。船舶およびオフショア構造セグメントは、船舶およびその他の船舶を建造および販売している。鉄道車両セグメントは、鉄道車両と除雪車を生産および販売している。航空宇宙セグメントは、航空機を製造および販売している。ガスタービンおよび機械セグメントは、ジェットエンジン、一般的なガスタービン、および原動機を製造および販売している。プラントおよびインフラストラクチャセグメントは、産業機械、ボイラー、環境機器、鉄骨構造物、および破砕機をカバーしている。二輪車およびエンジンセグメントには、二輪車、小型滑走艇、全地形対応車、多目的車、および汎用ガソリンエンジンが含まれる。精密機械セグメントは、油圧機器および産業用ロボットを製造および販売している。その他の事業は、建設機械の製造・販売、営利活動、販売・発注代行・仲介サービス、福祉施設運営を行っている。同社は1878年4月に川崎章三によって設立され、本社は日本の神戸にある。



※2020年の数字は既発表の四半期業績を単純に12か月換算したもの。

※理論値は過去の一株当たり利益と株価の関係を今期の予想一株当たり利益に適用して算出。

M&A

日付	時間	ニュース
2020/05/15	-	再び中古車両頼み？日本の鉄道輸出「前途多難」（東洋経済オンライン）
2020/05/15	-	モレラ、県美術館、アクア・トト…施設、順次再開
2020/05/14	-	川崎重工、20年3月期純利益32％減 今期予想は未定
2020/05/13	-	日本初のLNGバンカリング船、川崎重工 坂出工場で進水
2020/05/12	-	新型コロナ:川崎重工業、ボーイング向け売上高が3割減に 2020年度見通し
2020/05/12	-	川崎重工、モーターサイクル＆エンジン事業など不振で営業減益 2020年3月期決算
2020/05/12	-	新型コロナ:川崎重工、20年3月期末18年ぶり無配 資金確保を優先

N評: N

フリーキャッシュフローは売上高の1.6%と低く、ネット有利子負債はフリーキャッシュフローの20.5倍と高いため最低評価。株価は下落しており6ドル。予想一株当たり利益をもとに計算した理論値は11ドル。